



Signal Lane

路面に光の線を照射することで、自分専用の自転車専用道路をつくりだす。後方の自動車との距離間を認識し、光の色が信号のように緑、黄、赤と変化し、自動車に注意を促す。また、自転車側の速度を上げるほど、光の線の長さは長くなる。

Indicating Helmet

ヘルメット後部の LED が流れるように光ることで方向指示を行う。自転車運転者が後方確認時に、後ろを見る行為をセンシングし ON 状態となる。逆方向に首を振ることで OFF 状態となる。

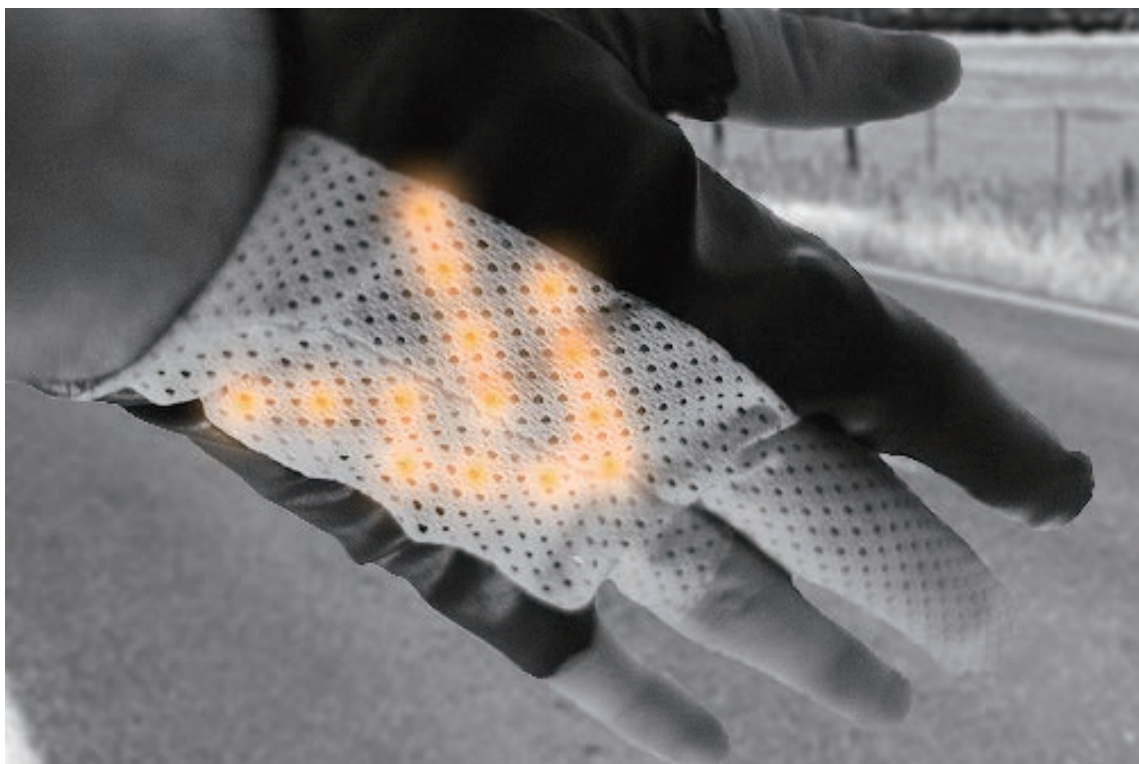


Indicating Pedal

ペダル後部の LED により、方向を指示する。足をペダルから少し浮かせると ON 状態となる。OFF 状態にするには、ペダルを後ろ側に漕ぐ、もしくは数秒後に自動で消える設定となっている。

Indicating Glove

手袋が光ることで、夜間でも手信号が視認できるようになる。親指と人差し指側面が接触しているときのみ、電源が ON になる。



Indicating Saddle-bag Prototype

サドルバックに取り付けた LED が光ることで方向指示をする。光るヒモ（サンクロス社が持つ導線を布繊維に編み込んで LED を付けたもの）を利用し自然なスタイリングを実現した。操作部は自転車ハンドル部に取り付け、無線後術を利用する。

Prototype

Incom Indicating Communicator

サドル下に取り付けて方向指示をする。側面には、路面を照射するための LED も取り付けられており、より自転車運転者の意図を自動車運転者がわかるようになっている。昼モードと夜モードの2モードがある。操作部は自転車ハンドル部に取り付け、無線後術を利用する。

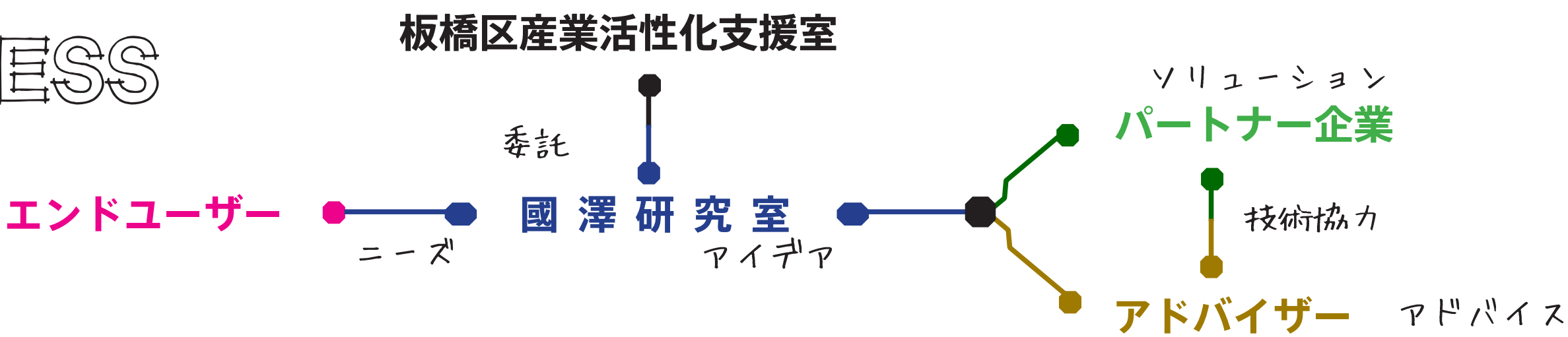


都市型中小製造業のためのデザイン力を活用した新たなモノづくりモデルの開発

産学公連携による地域ソリューション

MEMBER: 石野田大典, 廣瀬優平, 藤井正雄, 古畑直紀

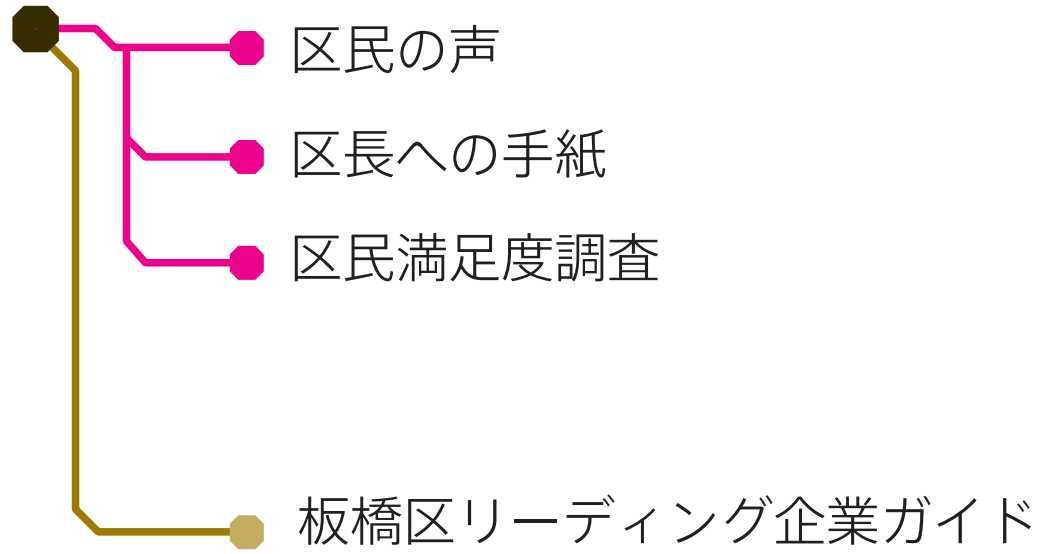
OUR PROCESS



知る

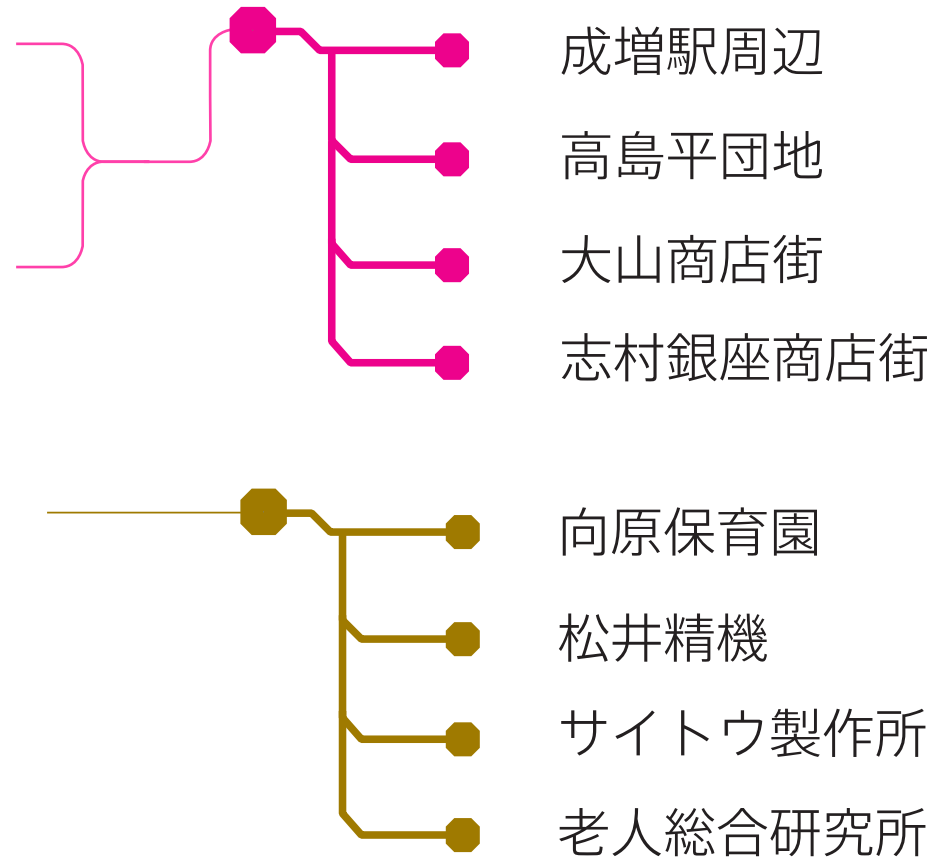
01 READING

既存資料による地域把握



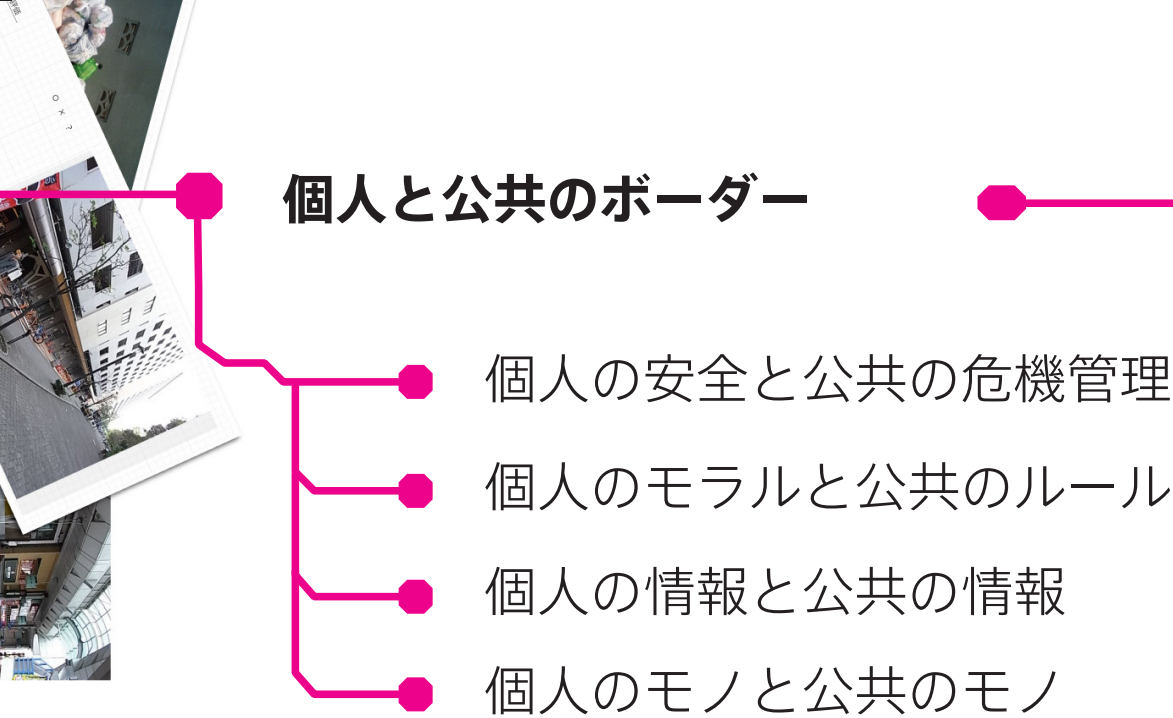
02 EXCURSION

現場での地域理解



03 FORCUS

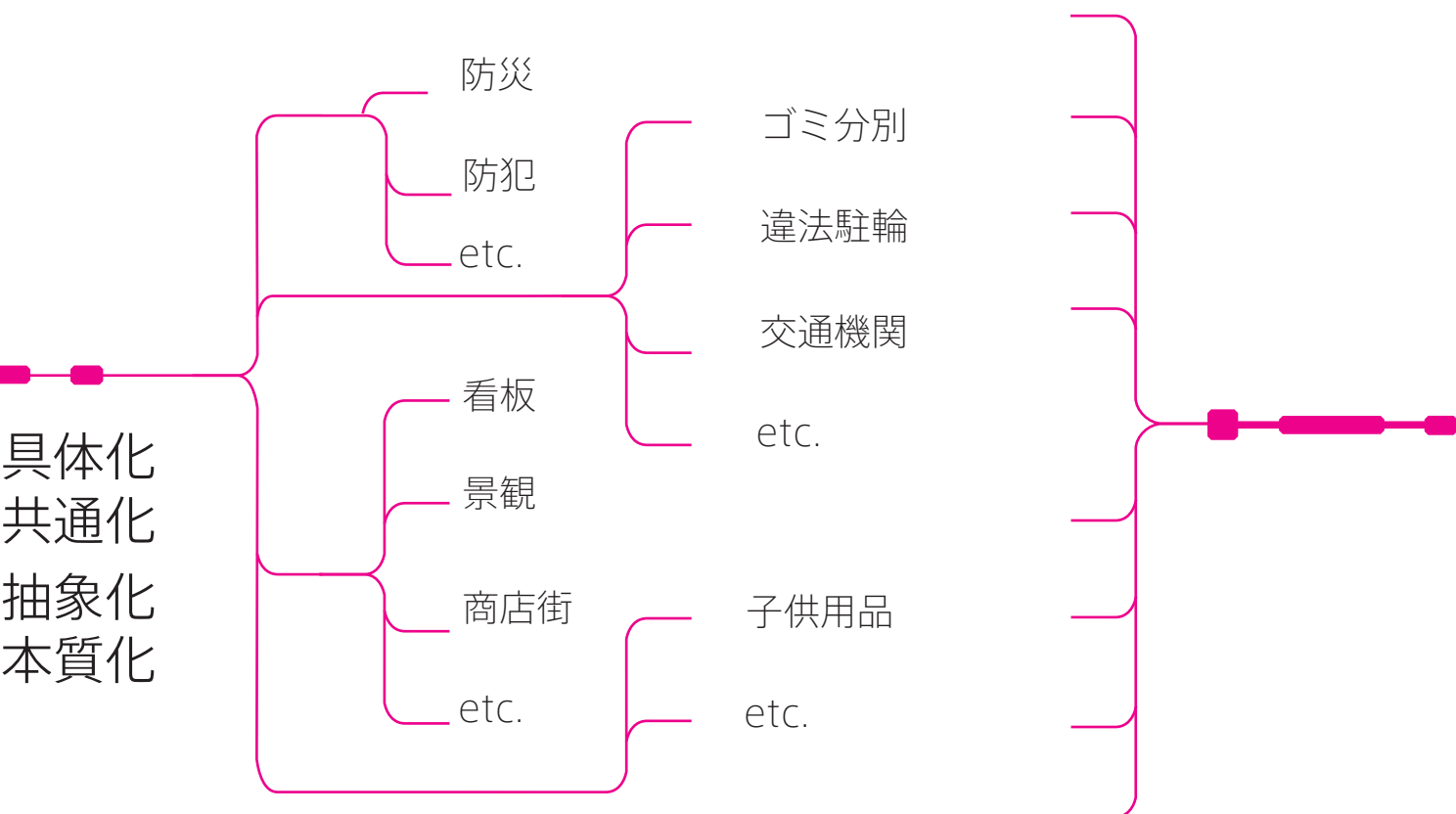
課題整理と視点の絞り込み



探る

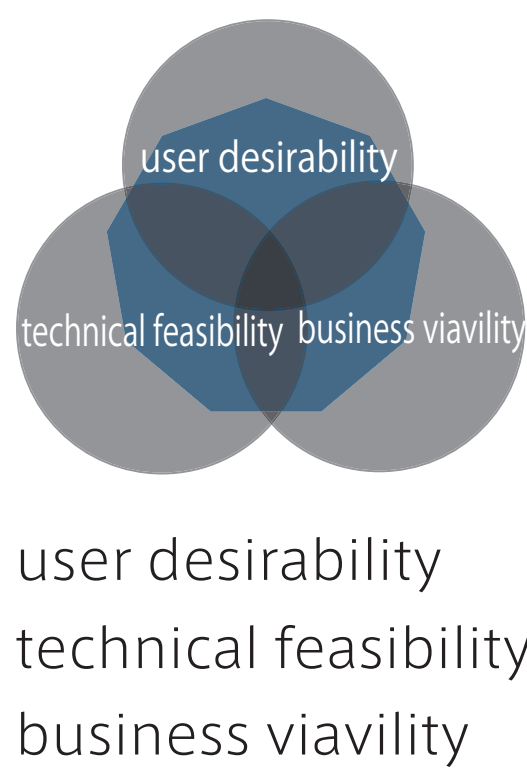
04 IDEA FLASH

課題の本質化



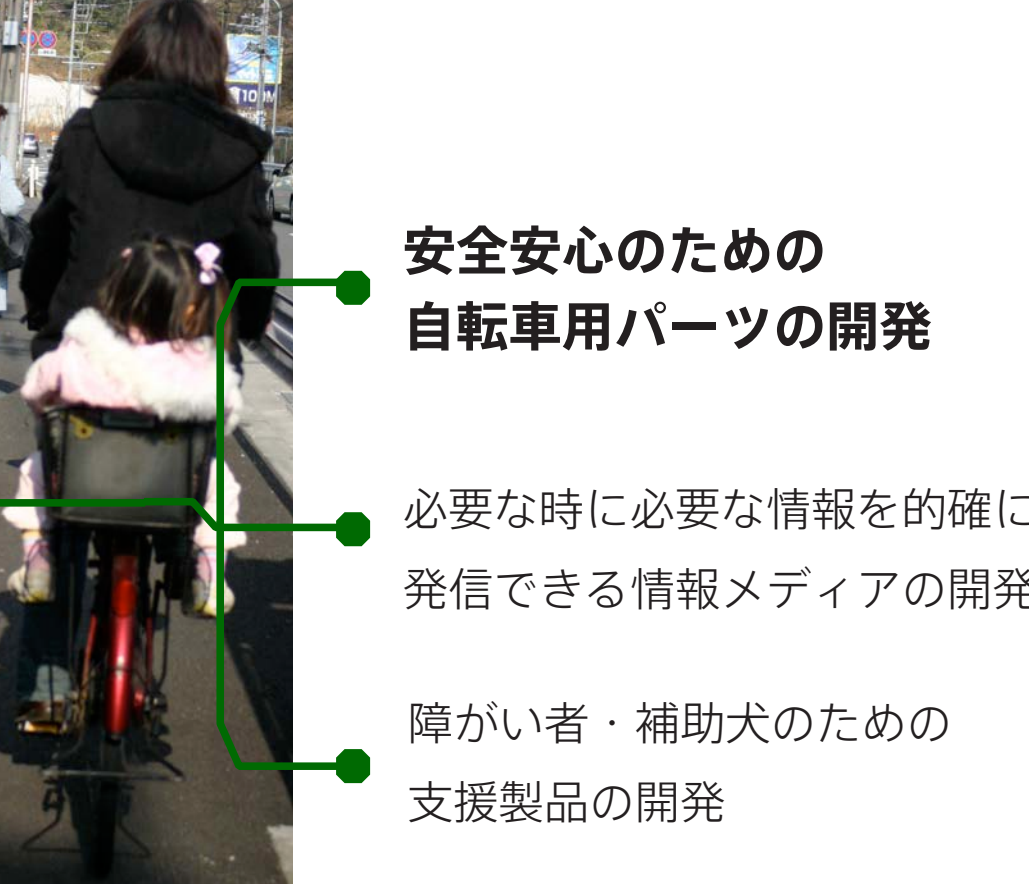
05 EVALUATION

テーマ発掘のためのアイデア評価



06 THEME

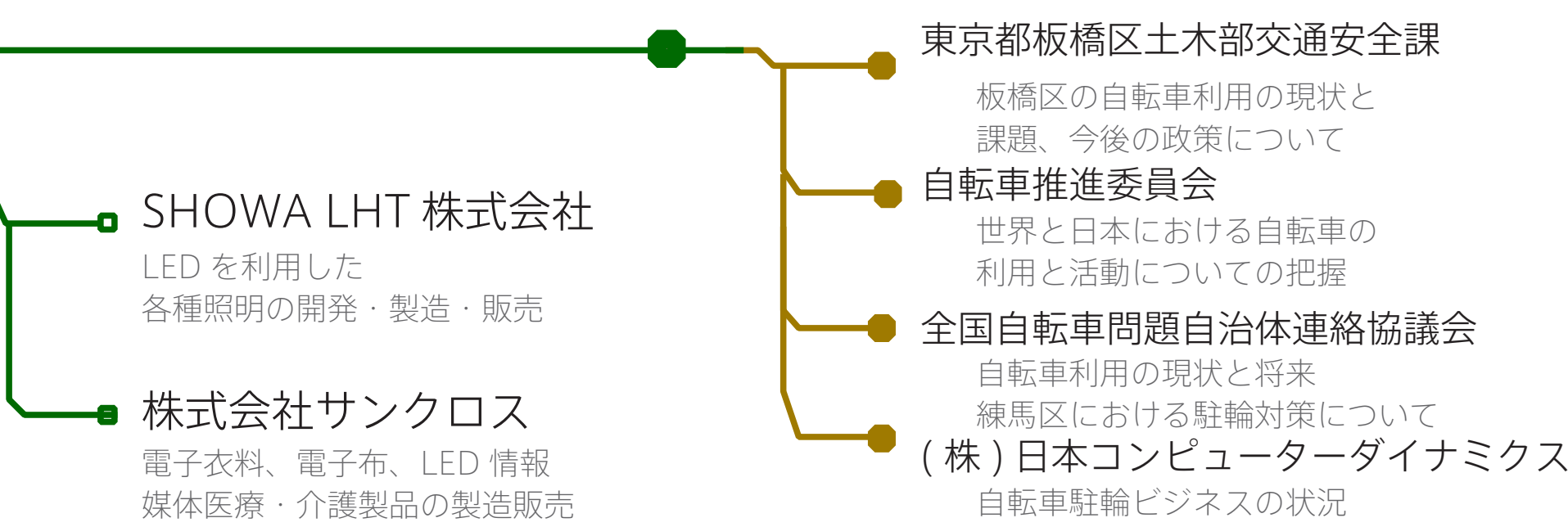
企業との連携のためのテーマ発掘



紡ぐ

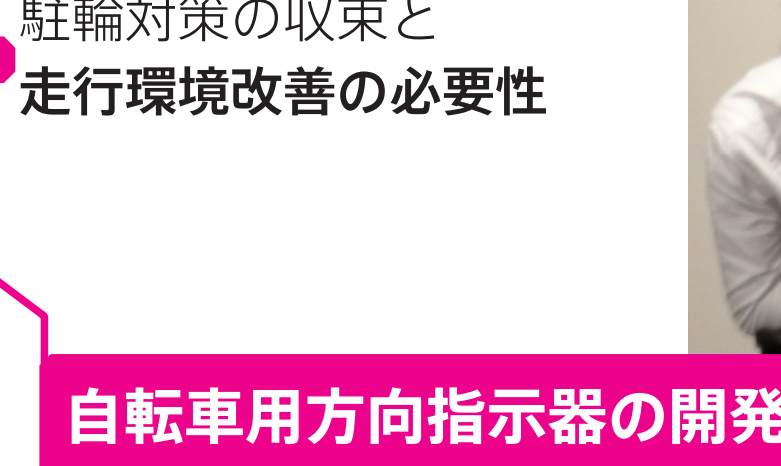
07 OFFER

連携企業の募集



08 HEARING

テーマに対する市場・技術調査



09 INTERVIEW

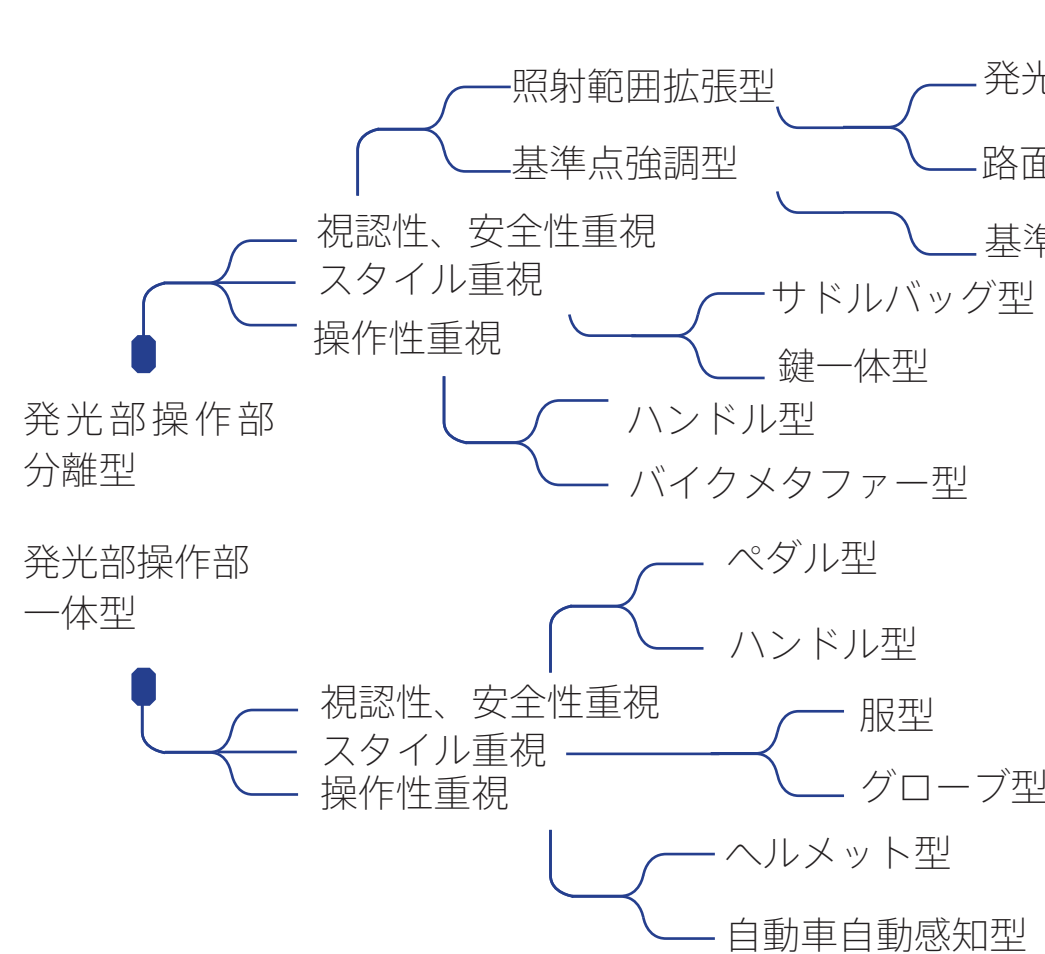
ニーズ把握



創る

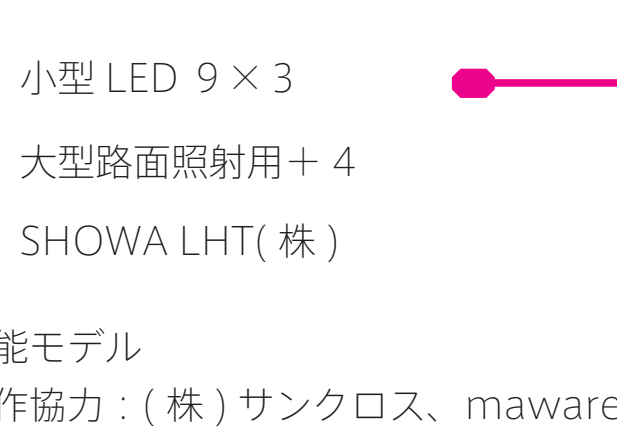
11 RAPID PROTOTYPING

機能決定のための簡易試作



11 PROTOTYPE

デザインの可視化



12 TEST

製品化に向けての課題整理

